

横浜みどりアップ計画 平成27年度の事業実績等について

横浜みどりアップ計画については、平成21年度から、横浜みどり税を財源の一部として積極的に活用し推進しています。平成26年度からは、それまでの取組の成果や課題等を踏まえ策定した新たな5か年計画に取り組んでいます。

平成27年度の実績及び市民認知度調査について報告します。

1 平成27年度の主な事業の実績

平成27年度は、計画の二年目となり、重点的に取り組むとしている「3つの柱」と「効果的な広報」について、おおむね順調に進めることができました。

- (1) 「市民とともに次世代につなぐ森を育む」取組では、多くの土地所有者の方々の理解と協力を得ながら、計画の根幹である樹林地の確実な保全を進めるとともに、市民の方々と協働して良好な森を育成するための取組や、市民の方々が森に関わるきっかけとなるような様々なイベントを開催するなど森の情報発信を進めました。
- (2) 「市民が身近な農を感じる場をつくる」取組では、良好な農景観を保全するため、水田の保全や地域の農地を管理する団体に対する支援等を行うとともに、市民が身近に農とふれあう場づくりや企業等と連携した地産地消の取組を進めました。
- (3) 「市民が実感できる緑をつくる」取組では、市民との協働により地域にふさわしい緑を創出する取組を進めるとともに、みなとみらい21地区から山下地区を中心とした都心臨海部で、緑花による魅力・賑わいづくりを進めました。
- (4) 「効果的な広報の展開」では、市民の皆様のご理解とご協力を得ながら取組を推進するため、様々な媒体・手法を用いて、計画や取組実績の周知やPRを行いました。

(1) 市民とともに次世代につなぐ森を育む

◆緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

◇緑地保全制度に基づく地区指定による樹林地の保全

土地所有者ができるだけ樹林地を持ち続けられるよう、固定資産税の減免などの優遇措置の適用や維持管理などの負担軽減が可能となる緑地保全制度の指定を進め、樹林地を保全しました。

<指定実績>

平成27年度目標 新規指定面積：100ha

【合計】		102.5ha		
制度名	指定済み		備考	
	地区数	面積		
内訳	特別緑地保全地区	37地区 (うち、既存地区の拡大8地区)	62.5ha	<ul style="list-style-type: none"> ○新規指定 ・東寺尾六丁目南地区、馬場五丁目地区(鶴見区) ・羽沢町綿打地区、三枚町矢崎地区、菅田町南出戸地区(神奈川区) ・野庭町地区(港南区) ・今井町見立橋地区、境木本町地区、上菅田町金草沢東地区、仏向町地区(保土ヶ谷区) ・上川井町露木谷地区、川井本町、都岡町地区(旭区) ・関ヶ谷地区、富岡東五丁目地区、大道二丁目地区(金沢区) ・三保町杉沢地区、北八朔町中地区、北八朔町南地区、十日市場町笹山地区、長津田町深田地区(緑区) ・元石川町平崎地区、元石川町平崎北地区、鉄町稻荷谷戸地区、奈良町宮ノ谷地区(青葉区) ・上郷町瀬上地区(栄区) ・新橋町地区、岡津町金堀谷地区(泉区) ・本郷三丁目地区(瀬谷区) ○拡大指定 ・菅田町堀上地区、三枚町牛道根地区、菅田町出戸谷地区(神奈川区) ・市沢町地区、上白根町小池地区(旭区) ・三保地区(旭区、緑区) ・大曾根台地区(港北区) ・恩田東部地区(青葉区)
	市民の森	新規指定0地区 既存地区の指定拡大9地区	4.6ha	既存地区の指定拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・南本宿市民の森(旭区) ・峯市民の森、氷取沢市民の森(磯子区) ・釜利谷市民の森、富岡東三丁目市民の森(金沢区) ・(仮称)池辺市民の森(都筑区) ・(仮称)名瀬・上矢部市民の森(戸塚区) ・瀬上市民の森、上郷市民の森(栄区)
	緑地保存地区	契約件数28契約	9.4ha	<ul style="list-style-type: none"> ・26年8月契約(11契約) ・26年12月契約(3契約) ・27年3月契約(14契約)
	源流の森保存地区	契約件数50契約	23.9ha	<ul style="list-style-type: none"> ・26年8月契約(15契約) ・26年12月契約(19契約) ・27年3月契約(16契約)
	寄附受納等	10地区	2.1ha	【寄附緑地】1.6ha 【地区計画緑地保全】0.5ha

◇土地所有者の不測の事態等による土地の買取り

特別緑地保全地区の指定地等で、所有者に不測の事態等が発生し、市へ土地の買入れ申し出があった場合に、条件が整った全ての申し出に対応しました。

<買取り実績>

平成27年度 買取り見込面積：約19.7ha

【 合 計 】	38地区 22.9ha	
制度名	地区名	区名
近郊緑地特別保全地区 (2地区)	円海山地区、大丸山地区	磯子区、金沢区
特別緑地保全地区 (28地区)	東寺尾六丁目地区、獅子ヶ谷・師岡地区	鶴見区
	今井町多子谷地区、今井町美立橋地区	保土ヶ谷区
	上川井町大貫谷地区、上川井町堀谷地区 上白根町小池地区、川島町二ノ沢地区 善部町地区、南本宿地区	旭区
	朝比奈地区	金沢区
	小机城址地区、綱島地区	港北区
	北八朔町中地区、三保町杉沢地区 三保町東谷地区	緑区
	恩田東部地区、恩田町番匠谷地区 鉄町富士塚台地区、寺家地区、元石川町平崎地区	青葉区
	池辺町滝ヶ谷戸地区	都筑区
	下倉田町地区	戸塚区
	上郷・中野地区、公田・荒井沢地区	栄区
	和泉町早稲田地区、鍋屋地区	泉区
	本郷三丁目地区	瀬谷区
市民の森等 (8地区)	東寺尾ふれあいの樹林	鶴見区
	南本宿市民の森	旭区
	富岡東三丁目市民の森	金沢区
	綱島市民の森	港北区
	深谷市民の森、舞岡ふるさとの森	戸塚区
	瀬谷市民の森、東山ふれあい樹林	瀬谷区

(2) 市民が身近に農を感じる場をつくる

◆様々なニーズに合わせた農園の開設

◇市民農園の開設支援

農家から指導を受けながら栽培から収穫までを楽しめる農園や、利用者が自由に農作業を楽しめる農園など、様々なニーズに合わせた農園を開設するための支援を進め、市民が身近に農体験を行う場の拡充に取り組みました。

平成 27 年度目標 開設支援面積 : 1.2ha

【 合 計 】	2.2ha 18か所	
区 名	面積 (ha)	か所数
旭区	0.34	1
磯子区	0.06	1
港北区	0.22	1
緑区	0.11	2
青葉区	0.41	5
都筑区	0.07	1
戸塚区	0.54	4
泉区	0.46	3

◇収穫体験農園の開設支援

野菜の収穫や果実のもぎとりなどを気軽に体験することができる収穫体験農園の開設に必要な施設整備を支援しました。

平成 27 年度目標 開設支援面積 : 2.5ha

【 合 計 】	1.0ha 11か所	
区 名	面積 (ha)	か所数
神奈川区	0.08	1
旭区	0.17	2
港北区	0.09	1
緑区	0.10	1
都筑区	0.06	2
戸塚区	0.23	1
泉区	0.29	3

今後については、農園開設をイメージしやすいよう、着実な事業実施のため、すでに収穫体験農園を開設している農家の成功事例を紹介するなど、関係農家へPRをしていきます。

◆農景観を良好に維持する取組の支援

◇共同利用設備の整備

剪定枝堆肥化に必要な機械設備の導入に対して助成を行いました。

平成27年度目標 整備件数：5件

実績 【整備件数：1件】	
保土ヶ谷区仏向町	1件

今後については、堆肥散布機を使用しない場合も助成対象とするなど事業内容の見直し（※）を行ったことを、引き続き広報等を通じて、関係農家へPRしていきます。

※事業内容の見直し

堆肥を畑等に効率よく散布するための堆肥散布機の導入を必須としていましたが、27年度の途中から、散布機を使用しなくとも散布が可能な場合は、不要としました。

◆市民や企業と連携した地産地消の展開

◇企業等との連携の推進

企業等との連携により市内産農畜産物を使用した新商品の開発やマルシェの開催等を行い、市内産農畜産物のPRや市民が身近に農を感じる場・機会の拡充を図りました。

平成27年度目標 連携件数：5件

連携実績 【連携件数：8件】	
東日本旅客鉄道(株) 横浜支社との連携による横浜産トマトソースを使った新商品の企画・PR	6～8月
山崎製パン(株) 横浜第二工場との連携による横浜ビーフを使った新商品の企画・PR	9～10月
(株)そごう・西武 そごう横浜店との連携による横浜産リンゴを使った新商品の企画	9～10月
みなとみらい地区ホテル等との連携による食と農の祭典の開催	11月
(株)ミツハシとの連携による横浜産米の販売	9月
(株)代官山ワークス等との連携による「横浜北仲マルシェ」への市内農家の参加	1～3月
(株)横浜赤レンガとの連携によるイベント「ストロベリーフェスティバル」における横浜産イチゴの販売	2月
(株)横浜赤レンガとの連携によるイベント「鍋小屋 2016」における市内産春菊・シイタケの使用	2月

(3) 市民が実感できる緑をつくる

◆地域緑のまちづくり

地域が主体となり、住宅地や商店街、オフィス街、工場地帯など様々な街で、地域にふさわしい緑を創出する計画をつくり、計画を実現していくための取組を進めました。

<地区の状況>

平成 27 年度目標 地域緑化推進事業：28 地区

【合 計】 26 地区					
		地区名	区名	地区名	区名
内 訳	27 年度 新規推進地区 【4 地区】	東本郷	緑区	霧の里	緑区
		上星川	保土ヶ谷区	初黄・日ノ出町	中区
	26 年度 着手地区 【6 地区】	洋光台一丁目	磯子区	竹山三丁目	緑区
		六ツ川・永田	南区	金沢文庫すずらん通り	金沢区
		柿の木台	青葉区	中原三丁目	磯子区
	25 年度までに 着手した地区 【16 地区】	生麦新子安	鶴見区/神奈川区	錦が丘	港北区
		山手	中区	末広	鶴見区
		馬車道	中区	平楽	南区
		白根台第九	旭区	みなとみらい 21 新港	中区
		上白根国際	旭区	牛久保西	都筑区
		名瀬たかの台	戸塚区	北寺尾	鶴見区
		上飯田	泉区	みなとみらい 21 横浜駅東口・中央	西区
	みなとみらい 21 中央	西区	湘南桂台	栄区	

◆都心臨海部の緑花による賑わいづくり

都心臨海部の都市公園、港湾緑地、街路樹などを中心に、質の高い緑や花の整備と管理を集中的に展開し、街の魅力形成・賑わいづくりにつなげます。

<都心臨海部の緑花整備・維持管理 対象か所一覧>

平成 27 年度目標 推進

対象か所	整備	維持管理
山下公園	○	○
港の見える丘公園	○	○
横浜公園	○	—
グランモール公園	—	○
元町公園（西洋館含む）	○	—
日本大通り・山下公園通り	（設計）	—
東横線跡地（一部区間）	（設計）	—
港湾緑地	象の鼻パーク等	（設計）
	新港中央広場	—

◆民有地における緑化の助成

◇緑化の助成

法令等に定める基準以上の緑化を行う市民・事業者に対し、屋上等の緑化費用の一部に助成しました。

緑の少ない、鶴見区、神奈川区、西区、中区及び南区における、公開性や視認性のある緑化について、地面緑化や、維持管理費用も助成の対象としています。

平成27年度目標 助成件数：13件

実 績 【助成件数：5件】	
共同住宅兼事務所の地面緑化（鶴見区）	1件
共同住宅における地面緑化（鶴見区）	1件
共同住宅兼事務所における屋上緑化（神奈川区）	1件
共同住宅における屋上緑化（西区）	1件
1戸建て住宅における屋上緑化（都筑区）	1件

今後については、制度利用者が、建築物の緑化をイメージしやすいよう、助成事例等を窓口やホームページで紹介することや、建築物の新築の際に、直接、制度のご案内をするなど、制度がより利用されるよう、広報を充実させます。

(4) 効果的な広報の展開

◆計画の周知や実績報告

横浜みどりアップ計画の広報事業では、財政局や区役所とも連携し、様々な媒体・手法を用いて、計画や取組実績の周知やPRを行いました。

平成27年度は、親しみやすいマスコットキャラクターである「横浜みどりアップ葉っぱー」を制作し、様々な場面で活用することで、「横浜みどりアップ計画」に関心を持っていただけるよう、広報を進めました。



ア 広報誌等

○広報よこはま

- ・市版 はま情報4月号、特集ページ9月号

(平成26年度の実績、10・11月のみどりアップ月間の告知など)

- ・区版 神奈川区版7月号、鶴見区版7月号、瀬谷区版7月号、港北区版8月号、戸塚区版9月号・3月号、旭区版10月号、緑区版8～3月号(連載コラム)

○平成26年度実績概要リーフレットを作成し(14万部)、全戸回覧・公共施設等で配布

イ イベント

○「よこはま花と緑の春フェア」パネル展示による計画PR、苗木配布

○「環境行動フェスタ」ステージで横浜みどりアップのマスコットキャラクター「横浜みどりアップ葉っぱー」をお披露目、みどりアップ計画の取組を紹介

○「農と緑のふれあい祭り」パネル展示による計画PR、収穫体験、地産地消の紹介、クラフト教室

○「子どもアドベンチャー」クラフト教室を実施

○「よこはま食と農の祭典」横浜の農の紹介・野菜の直売、地産地消の取組のPR

○「よこはま森の楽校」みどりに親しむワークショップを市内の大学生などが実施

○各区区民まつりでの計画のPR、クラフト教室

○森や公園を使ったウォーキングイベント

○動物園でのイベント パネル展示、クイズ、苗木配布など



【写真】環境行動フェスタ2015の様子

ウ 交通広告

○パートラッピングバス・市営地下鉄及び私鉄各線の車内ポスターなど交通広告を実施し、計画やみどりアップ月間をPR



【写真】パートラッピングバス

エ その他

○プロモーションビデオの制作

○市庁舎など公共施設等での横断幕によるPR

○市のホームページでの計画内容・実績の公表、ラジオやTwitter、メールマガジンでのイベント情報の提供

○事業実施場所での現地表示

○図書館や市庁舎市民広間での展示を通じたPR

○マスコットキャラクターを活用したPR

2 市民認知度調査

効果的な広報の取組の一環として、27年度に実施した『「横浜みどりアップ計画」や「横浜みどり税」の広報に関する調査』の結果についてご報告します。

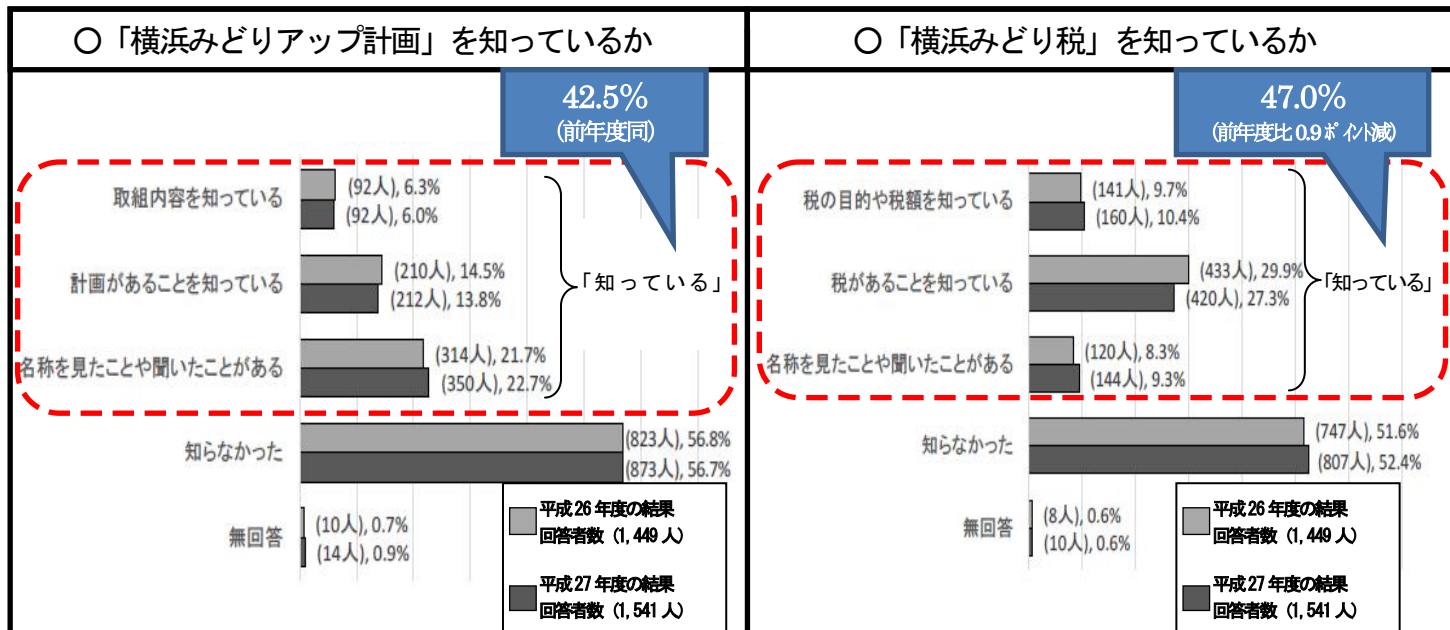
(1) 調査の概要

- 目的 「横浜みどりアップ計画」及び「横浜みどり税」を市民の皆様にご存知いただくための広報の方法や、市民の皆様の緑の取組への関心を検証し、今後の取組及びその広報を検討する基礎資料とすること
- 調査対象 市民5,000人（住民基本台帳から無作為に抽出した満20歳以上の市民）
- 実施期間 平成27年11月27日（金）から12月18日（金）まで
- 回収数等 1,541票（回収率30.8%）
- 設問 「横浜みどりアップ計画を知っているか」「横浜みどり税を知っているか」「何で知ったか」「市の情報を得る手段」など10問

(2) 主な調査結果

- 「横浜みどりアップ計画を知っているか」…「計画があることを知っている」など：42.5%
- 「横浜みどり税を知っているか」…「税があることを知っている」など：47.0%
- 「何で知ったか」…「広報よこはま等の広報紙」：50.2%
- 「市の情報を得る手段」…「広報よこはま等の広報紙」：72.2%
…「自治会・町内会の回覧」：41.5%
- 「効果的だと思われる広報の仕方(自由意見)」…上位意見は「交通広告」、「イベント開催」、「広報よこはま」、「教育」

【26年度調査結果との比較】



(3) 今後の対応等

今年度末から開催される「全国都市緑化よこはまフェア」で取組、成果をPRするとともに、引き続き「広報よこはま」「自治会・町内会の回覧」「交通広告」の活用や、新たに制作したプロモーションビデオによる広報、27年度に制作したマスコットキャラクター「横浜みどりアップ葉っぱー」をイベントなどに活用したPRに取り組んでいきます。

本調査については、28年度以降も毎年度実施します。

3 平成28年度事業目標

〔「横浜みどりアップ計画（計画期間：平成26-30年度）平成28年度事業目標（参考資料3）参照〕